

4. 活動報告

(1) 外部評価委員会

外部評価委員会最終評価コメント：

全課題において、当初の計画以上の成果を上げたと認められる。

サブ課題ごとの評価ポイントは下記のとおり。

サブ課題1：発生した地震と南海トラフ地震との関係を迅速な推定やすべり分布の推定、および今後の地震活動の推移予測の各手法について格段の改善が認められる。これらの成果は地震活動の見通しに関してより確度の高い情報発表に寄与することが期待でき、また成果の一部は社会実装の先進事例として高く評価できる。

以下、特に高く評価できる成果について列記する。

- ・南海トラフ沿いで発生する地震について、想定される巨大地震との関係をリアルタイムデータに基づき即時に推定するために高精度の速度構造を構築できたこと。また、2024年8月に日向灘で発生した地震の評価作業に必要な震源データ等の資料がこの速度構造や震源推定手法を用いて迅速に提供されたこと。
- ・プレート間すべりを地殻変動から推定するための地殻構造およびグリーン関数の高度化が達成されこと。また、その手法は国土地理院における業務作業に技術移転されていること。
- ・地質資料等による既往の南海トラフ地震に関する履歴を整理し、各地震におけるすべり分布をモデル化したこと、粘弾性モデルによるプレート間地震発生シミュレーションの高度化を行い、半割れ後の地震活動の推移予測まで試行できたこと。

サブ課題2：地震災害への事前の備えや発災時を想定した訓練の実施のために個人、企業等に多様な状況を付与することにより、あるいはCOVID19など地震以外の過酷事象を当てはめることにより、当事者の意識を高め、災害対応の高度化に大いに貢献できた。これについても研究成果の社会実装の好事例として高く評価できる。

以下、特に高く評価できる成果について列記する。

- ・他のサブ課題の成果を取り込み、南海トラフ沿いで発生する多様な地震に応じた発災シナリオを提示する「地震防災基盤シミュレータ」を構築したこと、これを活用して企業・事業所におけるより実践的な防災訓練等が実施できたこと。
- ・避難経路や避難の仕方について繰り返し訓練を行うための使い勝手の良いツールである「逃げトレ」の履歴を活用して妥当な避難経路を検討するためのツールとして「逃げトレビュー」の開発ができたこと。
- ・南海トラフ地震臨時情報発表時における対応行動を検討するにあたり、COVID19や能登半島地震など南海トラフ地震時の対応行動を考える上で参考となる事象を積極的に取り込んで状況設定を行い対策の具体的検討の共通イメージを持てるようになったこと。
- ・発災時に起きる事象について文字情報から因果関係を整理して、被害を想定する手法を構築できたこと。

サブ課題 3：サブ課題 1、サブ課題 2 の成果を用いて地域の関係者と課題解決に向けた対話を行うことにより、地域での対策や防災リテラシーの向上を図ることができた。

津波の浸水範囲やがれきの漂流予測については多様な初期条件、境界条件を入れ込んで結果を占めることにより、より効果的な事前対策を検討するための素材を提供できたことは評価できる。

また、人材育成にあたり、過去の震災体験者の証言も含めて整理することにより、より説得力のある教材を作成できたことは高く評価したい。より多くの人がこの教材を活用することを望む。

今後取り組むべきことや方向性については下記のとおり。

全体：本プロジェクトについて高松、東京で成果報告会を開催したところだが、Web サイトを活用するなどして、より広く成果を伝えてほしい。

サブ課題 1：四国沖に展開する N-net のデータを取り込んで、南海トラフ沿いの地殻活動のより精度の高い、より妥当な描像ができるようになることを期待したい。

また、同様の手法で千島海溝、日本海溝沿いの構造を整理し、南海トラフ沿いと同程度の地殻活動モニタリングができるようになることを期待する。

サブ課題 2：「地震防災基盤シミュレータ」をより多くの事業者、公的機関に活用できるよう環境整備を進めてほしい。究極的には専門家の助言がなくてもこのシミュレータを活用できるようになることが望ましい。

サブ課題 3：地域ごとの課題の抽出、解決策の検討を行う地域を広げて欲しい。そのためには少数の専門家だけが関与するのではなく、専門知識を持ったより多くの協力者を育成することが重要である。

そのほか、令和 6 年度の外部評価委員会の取り組みは下記の①～③のとおり。

① 令和 6 年度第 1 回外部評価委員会

日時：令和 6 年 9 月 30 日（月）13 時 00 分～17 時 30 分

会議形式：JAMSTEC 横浜研究所およびオンライン（zoom）

議事：

1. 文部科学省、外部評価委員長、研究代表より一言
2. 各課題について、プロジェクトの計画とこれまでの成果報告

（1）サブ課題 1 地殻活動情報創成研究

サブ課題 1 サブ(a) 防災科学技術研究所 汐見勝彦

サブ課題 1 サブ(b) 東北大学 太田雄策

サブ課題 1 サブ(c) 海洋研究開発機構 堀 高峰

（2）サブ課題 2 地震防災情報創成研究 防災科学技術研究所 藤原広行

サブ課題 2 サブ(g) 防災科学技術研究所 中村洋光

サブ課題 2 サブ(d) 京都大学 矢守克也

サブ課題 2 サブ(e) 名古屋大学 平山修久

サブ課題 2 サブ(f) 東京大学 廣井 悠

(3) サブ課題 3 創成情報発信研究 防災科学技術研究所 高橋成実

3. 総合討論・総評

4. 事務連絡・今後の予定等

② 令和6年度第2回外部評価委員会

日時：令和7年3月28日（金）13時00分～17時30分

会議形式：JAMSTEC 横浜研究所およびオンライン（zoom）

議事：

1. 文部科学省、外部評価委員長、プロジェクト代表より一言

2. 各課題について、プロジェクトの計画とこれまでの成果報告

(1) サブ課題 1 地殻活動情報創成研究 海洋研究開発機構 小平秀一

サブ課題 1 サブ(a) 防災科学技術研究所 汐見勝彦

サブ課題 1 サブ(b) 東北大学 太田雄策

サブ課題 1 サブ(c) 海洋研究開発機構 堀 高峰

(2) サブ課題 2 地震防災情報創成研究 防災科学技術研究所 藤原広行

サブ課題 2 サブ(g) 防災科学技術研究所 中村洋光

サブ課題 2 サブ(d) 京都大学 矢守克也

サブ課題 2 サブ(e) 名古屋大学 平山修久

サブ課題 2 サブ(f) 東京大学 廣井 悠

(3) サブ課題 3 創成情報発信研究 防災科学技術研究所 高橋成実

3. 総合討論・総評

4. 事務連絡・今後の予定等

③ 外部評価委員名簿

委員長 土井 恵治 土佐清水ジオパーク推進協議会 事務局長

委員 谷岡 勇市郎 北海道大学大学院 理学研究院地震火山研究観測センター 教授

委員 吉岡 祥一 神戸大学 都市安全研究センター 教授

委員 中辻 剛 気象庁 地震火山部管理課 課長

委員 能島 暢呂 岐阜大学 工学部社会基盤工学科 教授

委員 久田 嘉章 工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授

委員 香川 敬生 鳥取大学大学院 工学研究科 教授

委員 坂東 淳 徳島県 労働委員会事務局 事務局長

委員 山崎 登 国土舘大学 防災・救急救助総合研究所 名誉教授

(2) 全体会議

① 令和6年度 第1回全体会議

日時：令和6年9月12日（木）9時00分～12時20分

会議形式：オンライン開催

議事：1. 研究代表の挨拶

2. 各課題の進捗報告

サブ課題1

サブ課題2

サブ課題3

3. 総合討論・まとめ

② 令和6年度 第2回全体会議

日時：令和7年2月17日（月）13時30分～17時00分

会議形式：オンライン開催

議事：1. 研究代表の挨拶

2. 各課題の進捗報告

サブ課題1

サブ課題2

サブ課題3

3. 総合討論・まとめ

(3) シンポジウムなど

① ぼうさいこくたい2024

開催期間：令和6年10月19日～10月20日

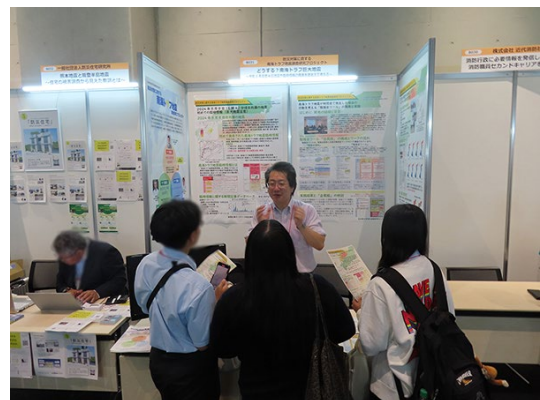
開催場所：熊本城ホール

主催：防災推進国民大会2023 実行委員会（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）

出展概要：本プロジェクト全体の紹介と、防災に関するプロジェクトの取組の一部としてサブ課題2の研究テーマを展示。



展示会場の様子



プロジェクト紹介のプレゼンブースの様子

プログラム

ぼうさいこくたい2024 > プログラム > ブース展示 > B031

B031 ブース展示

どうする？南海トラフ巨大地震 ～令和6年能登半島地震 や臨時情報の発表を踏まえて考える～

主催団体：防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト

 現地出展

10/19⑨ 10/20⑨

 熊本城ホール 2F シビックホールホワイエ  MAP

自治体向け

一般向け

 地震・火山

 地域防災・コミュニティ防災

プロジェクトの取り組みのうち、今回は、能登半島地震のライフラインの調査や南海トラフ地震臨時情報の勉強会を中心に紹介します。能登半島の地震後のライフラインの状況や復旧はどう進められたか。臨時情報の勉強会ツールや勉強会で行っている議論などを紹介することで、皆様が南海トラフ巨大地震への対処を考えるきっかけになれば幸いです。

ぼうさいこくたい HP の出展ページ

<https://bosai-kokutai.jp/2024/b031/>

②成果報告会 高松開催

開催日：令和7年1月27日（月）13：30～17：10

開催場所：サンポートホール高松 第一小ホール

協力：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

概要：第1部は各サブ課題代表による課題ごとの成果報告、第2部のパネル討論では、有識者にご登壇いただき、地域防災への貢献などを議論した。会場ロビーでは、プロジェクト全体、サブ課題、サブサブ課題のポスターセッションを行った。

事前登録者数：168名

当日来場者数：153名

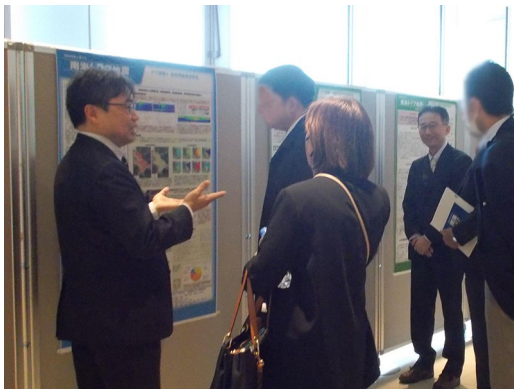
アンケート回答数：83件



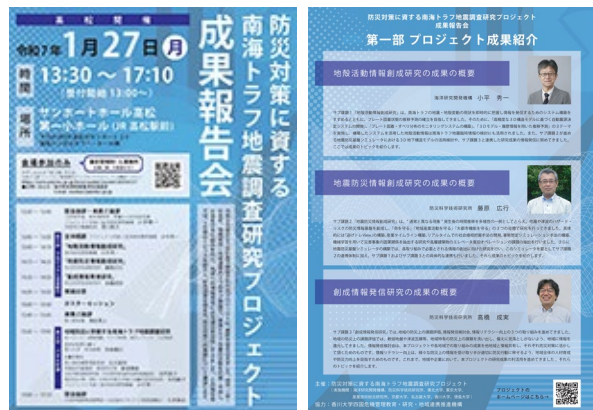
小平プロジェクト代表挨拶



パネル討論



ポスターセッション



チラシ

開催案内ページ

<https://www.jamstec.go.jp/bosai-nankai/j/event/20250127/>

③成果報告会 東京開催

開催日：令和7年3月6日（木）13：30～17：00

開催場所：ベルサール虎ノ門 ホール

概要：第1部は各サブ課題代表による課題ごとの成果報告、第2部の総合討論では、ご登壇の有識者から、成果に対する評価コメントをいただき、今後の課題について議論した。会場ロビーでは、プロジェクト全体、サブ課題、サブサブ課題のポスターセッションを行った。

事前登録者数：137名

当日来場者数：107名

アンケート回答数：41件



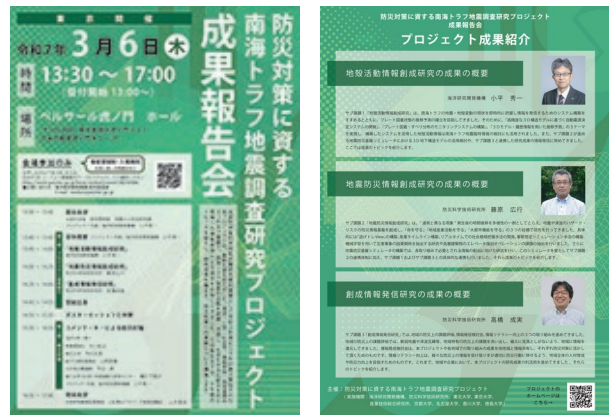
小平プロジェクト代表挨拶



総合討論



ポスターセッション



チラシ

開催案内ページ

<https://www.jamstec.go.jp/bosai-nankai/j/event/20250306/>